

互助の精神 永遠に!

プチ送迎ボランティア運行1000回



1000回目の送迎に出発!!



プチ送迎のこれからを研修しました。

プチ送迎ボランティア
 利用者33名、運転手21名、賛同者61名
 延べ利用者2564名
 医療機関ルートや買い物ルートなど
 5ルートがある

新村地区の高齢者の足としての「プチ送迎ボランティア」の運行が7月30日(火)で1000回を迎えました。当日はボランティアの役員のほか、町会役員、利用者、センター職員が集まり出発式を盛り上げました。

8月11日(日)には記念式典が開かれました。会の立上げから関わっている副会長の岩間海太郎さんは「買い物難民や医療難民をなくそうと平成24年から活動を始めました。この活動が多くの方にご理解いただき、今後も続けられるよう頑張っていきたい。」と話されました。

このほか、センター職員からは、他地区で実践しているボランティア活動の報告会が行われました。

今後、高齢化の進展に伴い、利用者の増加が見込まれるため、会員をさらに増やすことが大きな課題です。互助の精神の結集である「プチ送迎」が、より発展し継続していくために、一人でも多くの皆さんの参加が必要と感じました。



新村の人口・世帯数
 令和元年9月1日現在
 人口 3,218人
 世帯数 1,312世帯

夏休みの宿題などを地域の人達と一緒に学び、体験する公民館寺子屋が8月6日(火)と9日(金)に延べ32名の小学生が参加して行われました。

初日は、夏休み宿題帳を約2時間、ボランティアの先生に教わりながら取り組んでいました。その後、塾長の齋藤金司先生から「命の大切さ」のお話がありました。

昼食では「さわらびの会」の皆さんが作った贅沢な「すいとん」を味わっていました。2日目は勉強のあと、日本吹き矢協会松本アルプス支部

公民館寺子屋開く



やさしいオバちゃんに教わりました。

親子料理教室

8月2日(金)に親子料理教室が開催されました。5組の親子を対象に、新村地区食

生活改善推進協議会の会員が講師となり、かんたんスパニッシュオムレツなどの調理を行いました。慣れない作業が多い中、子ども達は講師の説明に耳を傾け、真剣に作業に取り組んでいました。

参加者に話を聞くと、「子ども達が真剣に料理をする姿を見て、良い夏休みの思い出になりました」と、嬉しそうに話してくれました。講師の話によると、今後も料理教室を開催予定で、「ものぐさだより」で参加者を募集していくとのこと。



先生に教わりながら...「わたしも見てほしいナ。」

の皆さんの指導で吹き矢体験をしていました。昼は「ひろば」お手製のカレーを美味しく食べていました。子ども達にとっては思い出多い寺子屋になったことと思います。

車社会の現代においては、さまざまな運転トラブルが発生している。高齢者ドライバーによるペダル踏み間違い事故。何が楽しいのか執拗につきまとう危険極まりないあおり運転▼松本にもある迷惑運転に関するキーワードを御存知だろうか? 「松本走り」と言うものである▼先日交差点で信号待ちをしていた際、青信号と同時に直進車より早くダッシュして右折していく車があった。左折する車にも、かぶせる様に右折してくる車があった。「松本走り」とは右折車優先の考えで行われる迷惑行為を称している。メディアにも取り上げられたが、決して誇れる運転マナーではないと思う▼いつもやっていること、自分は大丈夫と考えているのならすぐにやめることをお勧めしたい。自分が見て危険だと感じる運転はしないことだ▼一人一人が思いやりの気持ちで、やさしい運転を心がければ、悲しい事故は防げるはずである。皆さん! ハンドルを握る際には今一度自分に問いかけて運転していただきたい。それでは今日も気をつけて「いつてらっしゃい!」

八束穂

車社会の現代においては、さまざまな運転トラブルが発生している。高齢者ドライバーによるペダル踏み間違い事故。何が楽しいのか

子ども会育成会事業 ものぐさ大学の土城球技大会

8月22日(木) 芝沢体育館・芝沢小体育館で行われ、141名の児童が参加しました。

1〜3年まではドッジビー、4〜6年男子はバスケットボール、4〜6年女子はソフトバレーボールを行いました。今年度初めて全学年合同で大玉送りをを行い、紅白に分かれて対決しました。



さあ送ってくれ!!

公民館移動講座

元郵便局を営んでいた新村家が2年前に解体されました。そこに保存されていた古文書から新村の歴史を勉強しようと、文化財保存会ほか有志の21名が8月10日(土) 松本市文書館を訪れました。今後更に説明が進み、旧北新村の歴史が明らかになればと期待がふくらみました。

また松本民芸館創設者、丸山太郎の生誕110年記念企画展が開かれている民芸館や、この度、国宝に指定される旧開智学校を見学して、広く歴史に触れる一日になりました。

ものぐさ大学 小諸なる土城を巡る

8月1日(木) ものぐさ大学「美術館めぐり」に25名が参加。白鳥映雪美術館、懐古園内の小山敬三美術館などを鑑賞しました。午後は温泉組と別れた12名は25分ほど急な石段を昇り、善光寺参り伝説の「布引き観音」を参拝。暑い最中ではありましたが、それぞれに



急な道へへ観音様へ

ものぐさ大学 高原の池をウォーキング

8月28日(水) 予報は雨でしたが、参加者23名は、ものぐさ大学「自然観祭会」で、麦草峠の白駒の池を散策しました。若生した山中は霧に包まれ

3年生は松本広域消防局渚消防署の指導により公民館福祉ひろばでAED(自動体外式除細動器)の使い方学びました。

防災訓練を主催した「あたらしの郷協議会安心安全部会」部会長の新村勝年さんは「中学生にも地域防災の担い手となってほしい。訓練で学んだ知識や



秋を迎えようとしている、高原の静けさを感じた観祭会となりました。



木道を慎重に滑る

シリーズ 私たちの先生



松本大学教育学部 初等教育学科准教授 マーメット・シヨーン

私は昨年度松本大学に着任しました。私の研究は、DMISと呼ばれる外国語学習者の異文化に対する感受性について、およびTOEICという英語の試験の成熟度を上げることです。そして、2冊の海外の教育研究本に貢献したことや、国内や海外のいくつかの学術的なジャーナル記事、および会議の議事録も出版したこと、ジャーナル記事の事前審査員を務めたことがあります。オーストラリアの南クイーンズランド大学の教育学部の博士課程の学生としても論文を執筆しています。4月に私が新村の「みすゞ屋」のオープンの式典に出席して以来、水曜日の午後はず訪ねています。そこでの半年間の私のつながりは、とても素敵に感じます。アットホームな雰囲気にはとても癒されています。松大生だけでなく地域の方々など、ここでは得られない出会いはかけがえのないものです。水曜日に「みすゞ屋」でお会いしましょう!

河西部球技大会開催

8月25日(日)卓球・軟式野球・ママさんバレーボールの競技が行われ、各会場で熱戦が繰り広げられました。卓球(硬式)は新村地区が優勝し、見事大会3連覇を達成しました。

新村卓球部部長の小野銀河さんは、「卓球部員をはじめ、体協関係者の支えがあって達成できたものです。近年はメンバー集め等に苦労していますが、これからも連覇できるように頑張っていきたいと思えます」と語っていました。



子ども達も応援! 優勝だ!

卓球(ラージボール)	卓球(硬式)
優勝 和田	優勝 新村
準優勝 島立	準優勝 和田
3位 新村	3位 島立
4位 島内	
ママさんバレーボール	軟式野球
優勝 島立	優勝 島立
準優勝 新村	準優勝 新村
3位 島内	3位 島内
4位 和田	3位 和田